



# 熾火台

OR05-2402

## 取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、野外専用の焚火台です。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してから正しくご使用ください。また、取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

製品は万全を期しておりますが、フィールドでご使用いただく前に安全な場所で組み立て、取り扱い方法及び付属品を確認してください。

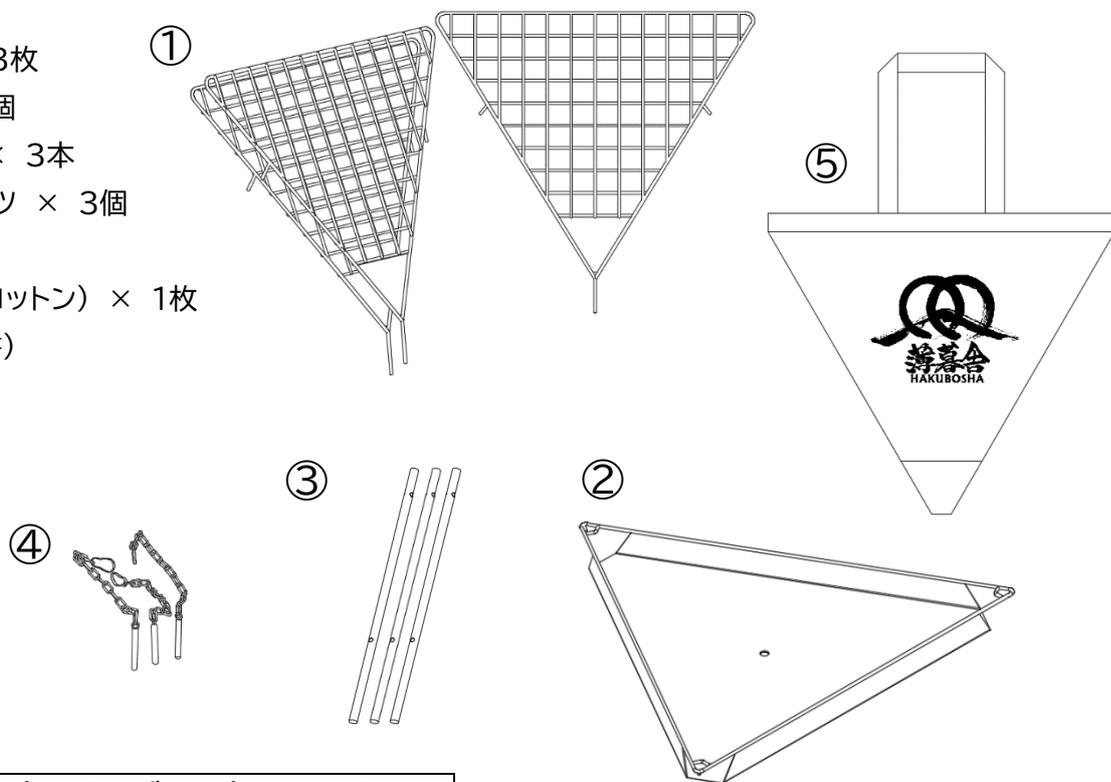
### 商品内容と各部名称

#### 【本体】

- ① ウイング × 3枚
- ② 灰受け × 1個
- ③ 連結ポール × 3本
- ④ 抜け止めパーツ × 3個

#### 【付属品】

- ⑤ 専用収納袋(コットン) × 1枚
- ・取扱説明書(本書)



### ご使用上の注意 必ずお読みください

焚き火には、取り扱いを誤ると非常に危険な要素が多く含まれています。この製品は、その危険性を回避または軽減するためのものではありません。本製品は安全に十分配慮しておりますが、誤った使用により、お使いになる方や他の人に危害や財産への損害などの事故が発生する可能性があります。これを未然に防止するため、以下の安全上の注意事項を必ず守ってください。

- 公園や河川敷、キャンプ場といった公用地で焚き火を行う際は各自治体や管理者に確認してください。
- 地権者(私有、公有の別なく)の許可がない場所で使用しないでください。
- 焚き火や火気などの使用が禁じられている場所では絶対に使用しないでください。
- 消火の準備をしてから使用してください。
- 本製品はご使用により必ず変形、変色いたします。熱による変形、変色は保証の対象となりません。

**⚠ 危険:** 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される内容を示しています。

- 本製品は風通しのよい屋外で使用してください。屋内やテントの中、車内など密閉された場所や狭い空間、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒による死亡または後遺症を伴う重大な影響を受ける可能性があります。
- ガソリン、灯油などの液体燃料、ガス、ジェル、プラスチックなどを燃焼させないでください。爆発や火災などの重大な事故を招く恐れがあります。
- 乾燥した草原など、延焼の恐れがある場所では焚き火をしないでください。
- 使用中は、本製品のそばを離れず、目を離さないでください。
- 本製品にお子様やペットが乗らないようご注意ください。思わぬ事故や製品破損の原因となります。

**⚠ 警告:** 誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ご使用の前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常を発見した場合には、直ちに使用を中止し、弊社問い合わせ窓口から点検または修理を依頼してください。
- ご使用になる前に、可燃性のものや熱による影響を受けやすいものが周囲にないことを確認してください。また、乾いた草の上など延焼の恐れがある場合でのご使用は絶対に避けてください。
- 傾斜地や不安定な場所でのご使用は本体の転倒などにつながる恐れがありますので避けてください。また、設置した状態でガタつきがないことを確認の上ご使用ください。
- 薪以外のものは燃やさないでください。
- スプレー缶、カセットボンベなどの高圧容器などを本製品の周辺に置かないでください。爆発する恐れがあります。
- 強風下でのご使用は大変危険ですので避けてください。また、ご使用中に風が強くなった場合、直ちに消火しご使用を中止してください。
- 使用中、本体は非常に高温になりますのでご注意ください。また、火の粉が飛ぶこともありますので、火や周囲の状況などに細心の注意を払ってください。特に小さいお子様が焚き火やその周辺で遊ぶと非常に危険ですのでご注意ください。
- 専用収納袋や衣類など燃えやすいものを本製品に近づけないでください。引火し、火災、火傷の原因となる恐れがあります。
- ご使用中の本体の移動は危険ですので絶対に行わないでください。
- 使用時は事故防止のため、消火用の水を入れたバケツなどをご用意ください。
- 本製品を操作する際は、必ず不燃性で断熱効果のある手袋やグローブを着用してください。
- テント付近で使用する際は、煙がテント内部に入らないよう風向きや設置場所に注意してください。一酸化炭素中毒になる恐れがあり大変危険です。
- 組立時や収納時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となる場合があります。また、破損したパーツで怪我をする恐れがあります。
- 就寝時には必ず燃料を燃やし切り、完全に冷めて消火していることを確認してください。
- 燃料となる薪を入れすぎないでください。思わぬ事故の原因となる恐れがあります。
- 使用中に横方向や下からの力、振動などを加えないでください。分解の原因となる恐れがあります。

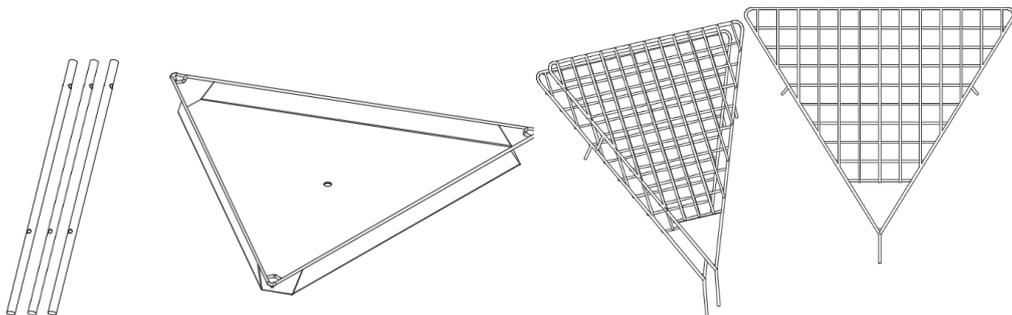
 **注意:**けがや本体破損、物品破損の原因となる行為を示しています。

- 焚き火以外の用途で本製品を使用しないでください。
- 片付けの際は本体が冷めていることを確認の上行ってください。また、緊急時以外は本体に水を掛けるなどの急な温度変化を与えないでください。変形・破損・劣化などの原因になります。
- 設置や収納の際は必ず手袋などを着用し、両手で行ってください。無理な取り扱いはケガや本体の破損につながる恐れがありますのでご注意ください。
- ご使用により、本体の変色や若干の歪みが生じますが、品質には支障ありません。
- 本製品にはステンレス材(SUS304)を使用していますが、ご使用条件によりサビが発生することがあります。
- ゴミの焼却など廃棄物処理法に抵触するような目的でのご使用はしないでください。
- 火の粉の飛散や輻射熱などにより、衣服などの物品が破損したり、火傷をする可能性があります。十分にご注意ください。
- 付属の専用収納袋はコットン製のため、火の粉によって燃焼する可能性があります。十分にご注意ください。
- 本製品は直射日光により熱くなります。薪を燃焼させていない場合であってもふいにやけどを負う危険があるため十分に注意してください。また、直射日光の当たる場所や、夏の車内での保管も同様に火傷の危険があります。直射日光の当たる場所や夏場の車内での保管はしないでください。
- 本製品は重量物です。組み立てる際は指などを挟まないように十分注意してください。
- 硬いものや尖ったものに接触すると傷の原因となります。衝撃や使用中の急激な温度変化により歪む可能性があります。本製品の歪みによって正しく組み立てができない場合や、組立後に極端な変形やぐらつきなどがある場合は使用を中止し、問い合わせ窓口にお問い合わせください。
- 本製品は鋼板を使用しております。端部処理を施しておりますが、取り扱いには十分に注意してください。組立、収納、運搬の際には不意に手などをケガしないよう、手袋などを着用してください。
- 耐荷重は10kgです。耐荷重は測定値であって保証値ではありません。製品に掛かる重量は積載物、積載方法によっても変わりますので、目安としてご使用ください。

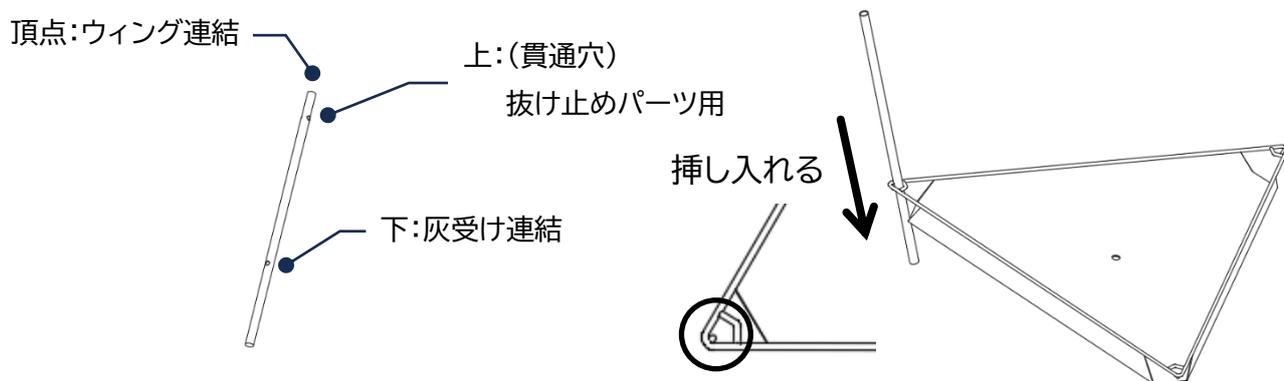
# 組立方法

手順1. すべてのパーツを取り出します。

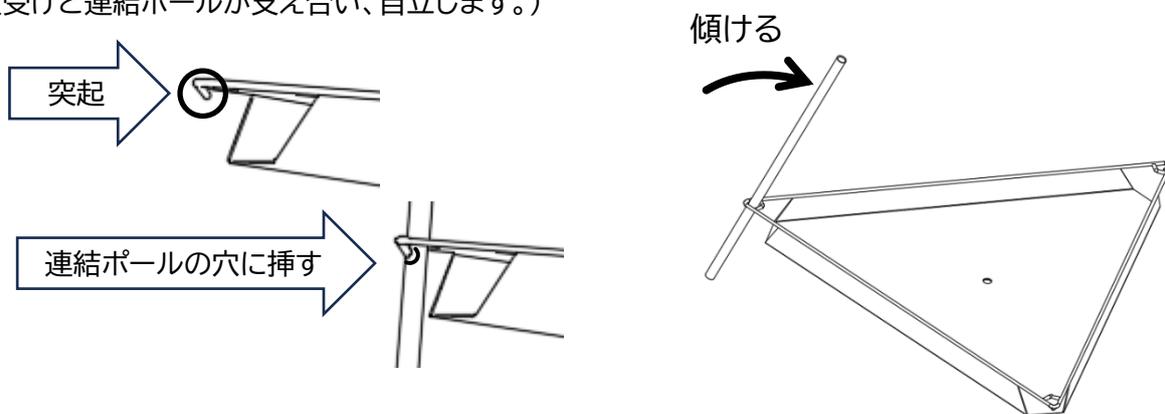
【組立手順説明動画】



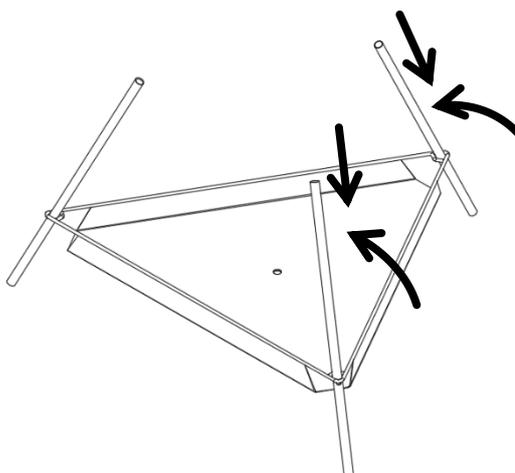
手順2. 連結ポールの貫通していない灰受け連結の穴を下にして灰受けの角に挿し入れます。



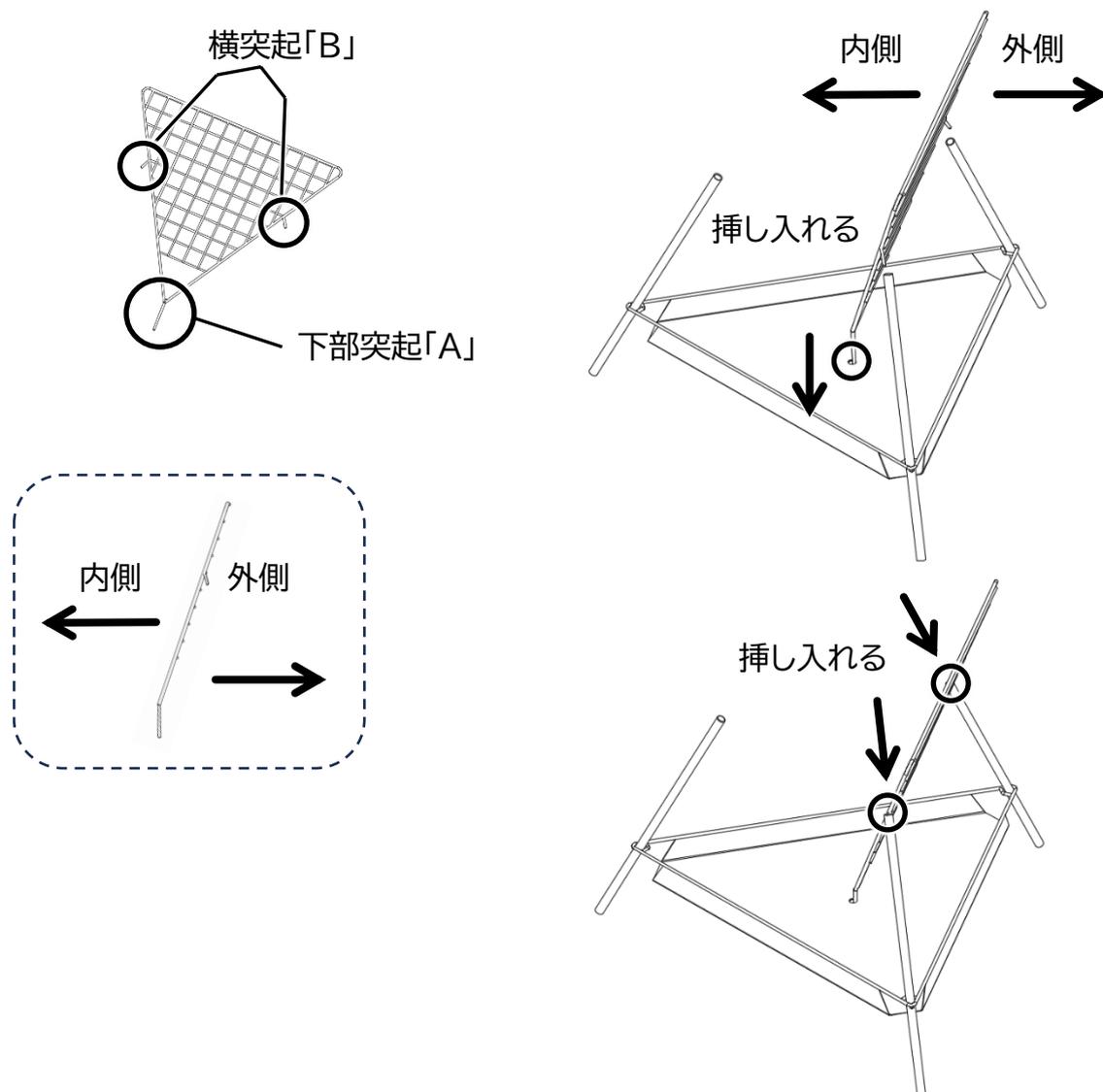
手順3. 灰受けの角についている突起を連結ポールの穴に挿し入れ、連結ポールを内向きに傾けます。  
(灰受けと連結ポールが支え合い、自立します。)



手順4. 残りの2つの角も同様に連結ポールを挿し入れます。

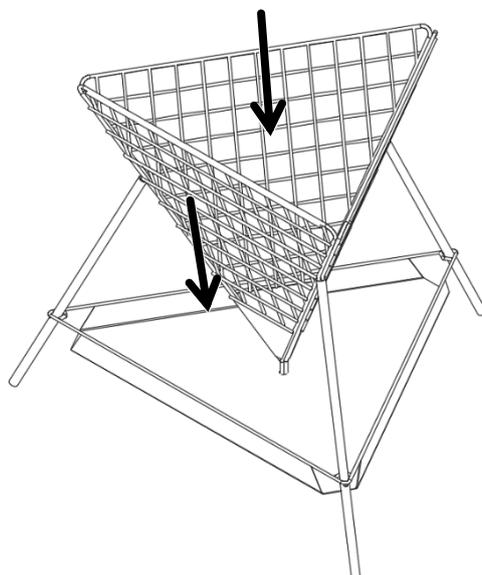


手順5. 灰受け中央の穴にウイング下部突起(「A」)を、連結ポールにウイングの横突起(「B」)を挿し入れます。



手順6. 残りの2つのウイングも同様に連結ポールに挿し入れて完成です。

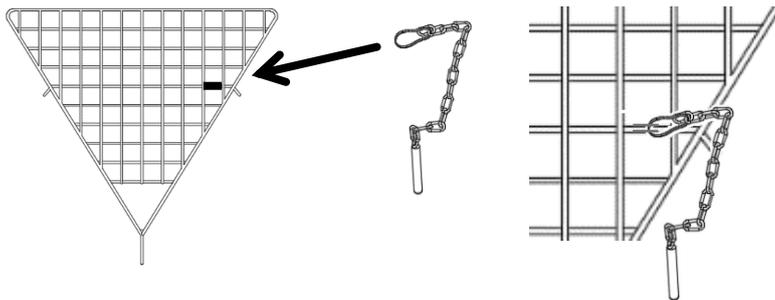
(抜け止めパーツ有りの場合は、次ページの手順7へ)



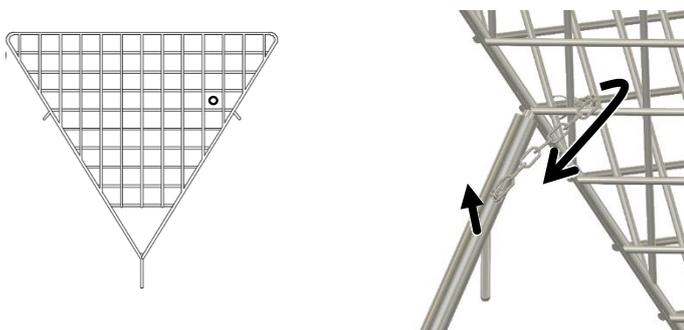
完成(標準 Ver.)

手順7. 抜け止めパーツを図の位置(ウイングの横突起(「B」)のある段の1コマ内側)に取り付けます。

※反対側へ取り付けでも使用できます。



手順8. 抜け止め棒を隣の網の図の位置(ウイングの横突起(「B」)の上、外から2番目の網目から通して、連結ポールの側面貫通穴を通します。

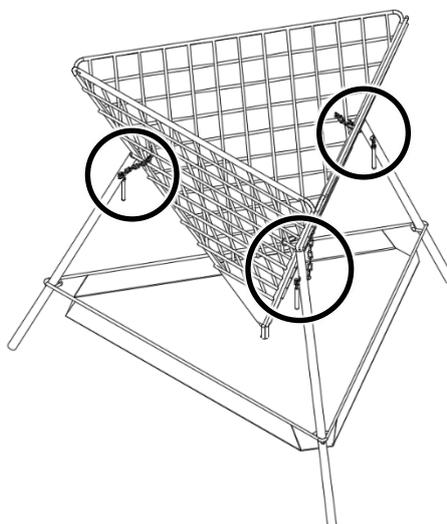


手順9. 抜け止め棒の全体が穴から抜け出ていることを確認します。

※完全に抜け出ない場合、ウイングが連結ポールにしっかり奥まで挿し込まれていることを確認してください。



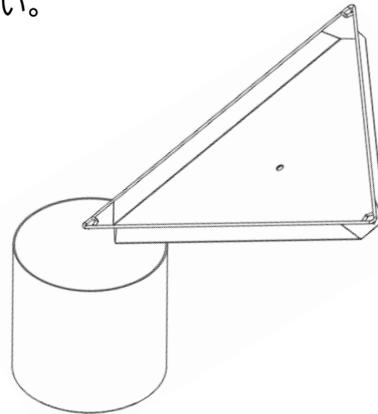
手順10. 残り2カ所も同様に、全ての抜け止めパーツをセットします。



完成(抜け止め Ver.)

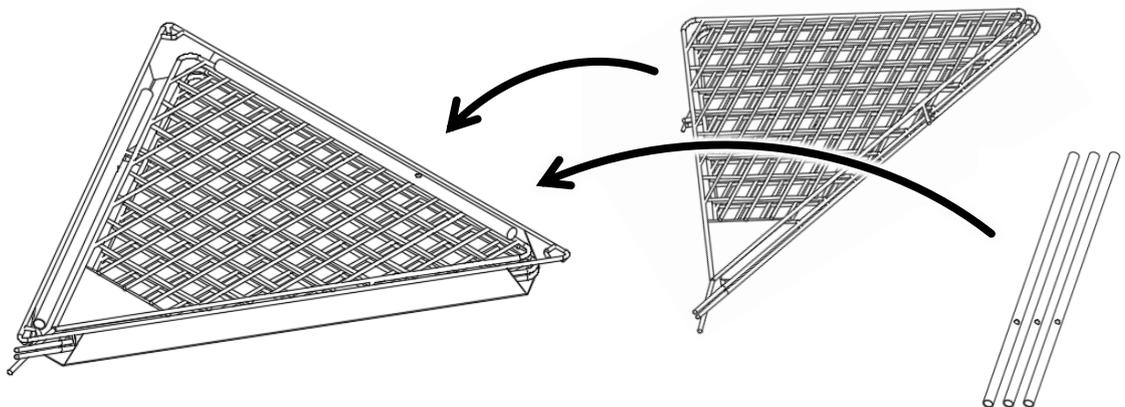
## 片付け方法

1. 片付けを始める前に、燃料が完全に燃焼し切り、完全に冷めて消火していることを確認してください  
緊急時以外は本体に水をかけたりしないでください。(本体の破損・変形の原因になります。)  
大きな炭が残っている場合には火ばさみやトングを使用して火消壺や火消し袋に移してください。  
各パーツが熱を持っていないことを確認してください。
2. ウィングを1枚ずつ外します。  
(残っている炭や灰は灰受けに落としてください。)
3. ウィングを外したら残っている炭や灰が地面に落ちないように気を付けつつ、連結ポールを1本ずつ外します。
4. 連結ポールを外したら、火消壺や火消し袋、灰捨て場に灰を映します。  
火消壺や火消し袋を使用する場合には、灰受けの角の開口を壺、袋の口に合わせた状態で  
灰受けを静かに細かく揺らしてください。  
灰の廃棄方法は各自治体の収集方法に従ってください。



## 収納方法

1. ウィングと連結ポールを灰受けに収納します。



## メンテナンス方法

- 熾火台本体を洗淨する場合は、スポンジのやわらかい面などを使用してください。硬い素材のタワシなどを使用すると傷の原因となります。
- 塩分や汚れが付着した場合には、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水を浸した布で洗剤をよくふき取ってください。クレンザーや有機溶剤などを使用すると傷やサビなどの原因となります。
- 洗淨後は水分をよくふき取り風通しのよい日陰でよく乾燥させてください。
- 手入れ完了後、日光があたり、湿気のない乾燥した場所で保管してください。

## 品質保証

製造・点検には万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたら、問い合わせ窓口にご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合には適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下のように修理できない場合もございますので、予めご了承ください。1. 素材の経年劣化による損害など製品の寿命、2. 改造および粗雑な扱いによる故障、3. 取扱説明書で禁止されている取り扱いによる故障、4. 不測の事故による製品の故障、5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障、6. ゴミやサビによる故障、7. 踏みつけるなど燃料となる薪以外の荷重を掛けたことによる故障、8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合、9. 他社製品との組み合わせによる故障

## 修理について

● 本格的な修理が必要な場合は、問い合わせ窓口までお問い合わせください。● 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。● 修理品には修理箇所がはっきりとわかるように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。● 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。1. 保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。2. 保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## 製品

外形(組立時): 幅約540mm、奥行き約470mm、高さ約425mm、  
質量: 約2.6kg  
材質: ステンレス(SUS304)

## 修理やサービスに関するお問い合わせについて

連絡先: 薄暮舎 問い合わせ窓口

【メール】support@hakubosha.com